UNITED

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月４日

上 場 会 社 名　　ユナイテッド株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　2497　　URL　https://united.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）　早川 与規
問合せ先責任者　（役職名）取締役 経営管理本部長　（氏名）　山下 優司　　(TEL) 03(6821)0000
半期報告書提出予定日　　2026年11月４日　　配当支払開始予定日　　2026年12月10日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・証券アナリスト向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,012	△7.0	87	—	63	—	227	—
2026年３月期中間期	4,313	△31.8	△690	—	△720	—	△626	—

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△258百万円（　—%）　2026年３月期中間期　△692百万円（　—%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	6.07	—
2026年３月期中間期	△16.48	—

（注）2026年３月期第２四半期（中間期）の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。また、2027年３月期第２四半期（中間期）の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	18,439	16,983	89.6
2026年３月期	20,048	17,764	85.5

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　16,515百万円　　2026年３月期　17,150百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2027年３月期	—	11.00			
2027年３月期(予想)			—	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800～8,200	△12.0～△7.5	0～200	—	0～100	—	0～50	—	0.00～1.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　―社（社名）―　　、除外　　1社（社名）フォッグ株式会社

第２四半期（中間期）における連結範囲の重要な変更に関する注記

フォッグ株式会社の株式を一部譲渡するとともに、同社が実施した第三者割当増資に伴い当社の持分比率が低下したことにより、同社に対する支配を喪失したため、同社を連結の範囲から除外し、持分法適用会社となりました。

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	40,412,690株	2026年３月期	40,412,690株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,903,058株	2026年３月期	2,971,488株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	37,469,028株	2026年３月期中間期	38,013,048株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

2026年11月４日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報） …… 9
（重要な後発事象） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかに回復している一方、物価上昇の継続による個人消費に及ぼす影響や、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスク、中東・ウクライナ等の情勢など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、パーパス「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」に基づき、現時点で収益の柱となる投資事業、教育事業、アドテク事業を中核事業と位置づけ、各事業個別の戦略で成長を目指してまいります。また、その他の事業は、育成中事業として、次なる中核事業としての成長を目指してそれぞれの事業に取り組んでまいります。

当中間連結会計期間の経営成績は、投資事業で投資先株式の売却量が前年同期比で増加したものの、育成中事業における連結除外及び事業譲渡の影響により、売上高は4,012,506千円(前年同期比7.0%減)となりました。一方、投資事業及び育成中事業における損益の改善により、営業利益は87,678千円(前年同期は営業損失690,545千円)、経常利益は63,562千円(前年同期は経常損失720,695千円)、親会社株主に帰属する中間純利益は227,373千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失626,459千円)となりました。

なお、第１四半期連結会計期間より、中核事業を明確化するため、報告セグメントを従来の「投資事業」、「教育事業」、「人材マッチング事業」、「アドテク・コンテンツ事業」から「投資事業」、「教育事業」、「アドテク事業」、「育成中事業」の４区分に変更しております。以下の前年同期比較については、当該変更後の区分方法により作成しております。

また、株式譲渡によって第１四半期連結会計期間の期首より連結の範囲から除外したフォッグ㈱、及び前連結会計年度に事業譲渡した㈱ブリューアスのIT教育事業につきましては、比較情報となる前中間連結会計期間においては育成中事業に含めております。

① 投資事業

投資事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資を行っております。

当中間連結会計期間は、投資先株式の売却量が前年同期比で増加した影響により、売上高は876,637千円(前年同期比200.3%増)、セグメント利益は484,873千円(前年同期はセグメント損失33,825千円)となりました。

② 教育事業

教育事業は、個別指導学習塾事業を運営する㈱ベストコにより構成されております。

当中間連結会計期間は、新規教室の出店・生徒数の拡大により、売上高は1,306,060千円(前年同期比12.6%増)と増収となりましたが、新規教室出店によるコスト増加に伴い、セグメント損失は107,018千円(前年同期はセグメント損失46,475千円)となりました。

③ アドテク事業

アドテク事業は、ウェブ広告領域における広告プロダクトの開発・運営や、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通したサービスを提供しているユナイテッドマーケティングテクノロジーズ㈱により構成されております。

当中間連結会計期間は、取扱高が前年同期並みで推移し、売上高は686,157千円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益は170,948千円(前年同期比2.8%増)となりました。

④ 育成中事業

育成中事業は、スマートフォン向けアプリ開発事業を運営する㈱ブリューアス、採用支援等のRPO（採用代行サービス）事業、人材紹介事業を運営するユナイテッド・リクルートメント㈱、デザイナー特化型マッチング事業を運営する㈱リベイス、及びスポーツビジネス支援事業、会員管理サービス事業等を運営する㈱インターナショナルスポーツマーケティングにより構成されております。

当中間連結会計期間は、第１四半期連結会計期間の期首よりフォッグ㈱が連結除外となったこと、及び㈱ブリューアスが運営していたIT教育事業を前連結会計年度に事業譲渡したことから、売上高は1,161,962千円(前年同期比46.8%減)となりましたが、前年同期に営業損失を計上していたフォッグ㈱及びIT教育事業が連結除外又は事業譲渡となったことから、セグメント利益は18,968千円(前年同期はセグメント損失294,288千円)となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,609,679千円減少し、18,439,095千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

・有価証券及び投資その他の資産は、償還日が１年未満になった投資有価証券の有価証券への振替等により、有価証券は前連結会計年度末に比べ993,200千円増加し、投資その他の資産は前連結会計年度末に比べ952,409千円減少しております。

・営業投資有価証券は、投資事業における株式売却及び投資先株式の時価評価等により、前連結会計年度末に比べ755,848千円減少しております。

・その他流動資産は、未収還付法人税等の還付及びフォッグ㈱が連結除外になった影響等により、前連結会計年度末に比べ654,954千円減少しております。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ828,469千円減少し、1,456,089千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

・買掛金及びその他流動負債は、フォッグ㈱が連結除外になった影響等により、買掛金は前連結会計年度末に比べ331,764千円減少し、その他流動負債は前連結会計年度末に比べ276,791千円減少しております。

・繰延税金負債は、投資事業における株式売却及び投資先株式の時価評価等により、前連結会計年度末に比べ213,602千円減少しております。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ781,210千円減少し、16,983,005千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

・その他有価証券評価差額金は、投資事業における株式売却及び投資先株式の時価評価等により、前連結会計年度末に比べ481,104千円減少しております。

・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ206,439千円減少しております。

・親会社株主に帰属する中間純利益227,373千円の計上

・剰余金の配当による430,574千円減少

・新株予約権は、前連結会計年度末時点で行使期間中だった新株予約権の行使期間満了の影響により、前連結会計年度末に比べ126,647千円減少しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予想は、2026年３月期通期決算短信で公表した数値から変更ありません。詳細は2026年５月11日に発表しました「2026年３月期　決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2027年３月期通期連結業績予想（2026年４月～2027年３月）

売上高	7,800～8,200百万円	（前連結会計年度比12.0%～7.5%減）
営業利益	0～　200百万円	（前連結会計年度は営業損失1,221百万円）
経常利益	0～　100百万円	（前連結会計年度は経常損失1,268百万円）
親会社株主に帰属する当期純利益	0～　50百万円	（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失1,559百万円）

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,963,294	5,928,964
売掛金	1,181,902	893,672
有価証券	－	993,200
営業投資有価証券	9,066,428	8,310,580
棚卸資産	20,603	86,218
その他	923,377	268,423
貸倒引当金	△16,549	△16,004
流動資産合計	17,139,056	16,465,054
固定資産		
有形固定資産	371,511	396,317
無形固定資産		
のれん	388,793	336,954
その他	339,378	383,143
無形固定資産合計	728,171	720,098
投資その他の資産	1,810,034	857,624
固定資産合計	2,909,718	1,974,040
資産合計	20,048,774	18,439,095
負債の部		
流動負債		
買掛金	860,231	528,467
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	61,868	52,866
未払法人税等	133,014	149,065
賞与引当金	47,063	43,888
その他	683,544	406,753
流動負債合計	1,885,722	1,281,041
固定負債		
長期借入金	34,653	21,711
資産除去債務	34,579	37,336
繰延税金負債	329,603	116,000
固定負債合計	398,835	175,048
負債合計	2,284,558	1,456,089

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	598,473	589,951
利益剰余金	15,077,816	14,871,376
自己株式	△1,966,015	△1,916,343
株主資本合計	16,633,293	16,468,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	528,655	47,550
繰延ヘッジ損益	△11,605	－
その他の包括利益累計額合計	517,049	47,550
新株予約権	127,187	540
非支配株主持分	486,685	466,911
純資産合計	17,764,216	16,983,005
負債純資産合計	20,048,774	18,439,095

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	4,313,592	4,012,506
売上原価	2,896,060	2,227,609
売上総利益	1,417,532	1,784,897
販売費及び一般管理費	2,108,077	1,697,219
営業利益又は営業損失（△）	△690,545	87,678
営業外収益		
受取利息	18,362	16,821
受取配当金	317	317
未払配当金除斥益	1,059	659
その他	7,081	9,905
営業外収益合計	26,821	27,705
営業外費用		
支払利息	1,505	1,459
持分法による投資損失	－	42,602
為替差損	673	3,074
支払手数料	4,516	－
控除対象外消費税等	5,470	3,572
支払奨励金	39,658	－
その他	5,145	1,111
営業外費用合計	56,970	51,821
経常利益又は経常損失（△）	△720,695	63,562
特別利益		
新株予約権戻入益	－	127,187
関係会社株式売却益	－	123,590
その他	－	440
特別利益合計	－	251,218
特別損失		
固定資産売却損	－	142
減損損失	10,093	－
事務所移転費用	4,226	－
特別損失合計	14,319	142
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△735,014	314,638
法人税、住民税及び事業税	85,560	131,181
法人税等調整額	△134,616	△28,419
法人税等合計	△49,055	102,762
中間純利益又は中間純損失（△）	△685,958	211,875
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△59,498	△15,497
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△626,459	227,373

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△685,958	211,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,213	△481,817
繰延ヘッジ損益	－	11,605
その他の包括利益合計	△6,213	△470,211
中間包括利益	△692,172	△258,336
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△630,964	△242,125
非支配株主に係る中間包括利益	△61,208	△16,211

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△735,014	314,638
減価償却費	99,282	111,890
減損損失	10,093	－
のれん償却額	58,567	51,839
株式報酬費用	29,453	24,896
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△688	△128
受取利息及び受取配当金	△18,679	△17,139
支払利息	1,505	1,459
持分法による投資損益（△は益）	－	42,602
関係会社株式売却益	－	△123,590
新株予約権戻入益	－	△127,187
売上債権の増減額（△は増加）	42,362	162,422
仕入債務の増減額（△は減少）	△135,840	△61,562
営業投資有価証券の増減額（△は増加）	△244,633	64,647
預り金の増減額（△は減少）	△404,411	△112,793
未払金の増減額（△は減少）	△214,724	△73,939
その他	112,284	△62,688
小計	△1,400,444	195,366
利息及び配当金の受取額	18,679	17,139
利息の支払額	△1,510	△1,499
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△451,345	511,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,834,621	722,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,357	△74,564
無形固定資産の取得による支出	△69,234	△112,471
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	－	△111,625
その他	△2,604	△4,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,196	△303,602
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△30,744	△21,944
新株予約権の発行による収入	－	540
自己株式の取得による支出	△1,129,050	△14
配当金の支払額	△942,129	△430,157
非支配株主からの払込みによる収入	1,593	1,018
非支配株主への分配金の支払額	－	△2,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,100,329	△453,241
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,027,147	△34,330
現金及び現金同等物の期首残高	12,611,361	5,963,294
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,584,214	5,928,964

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	投資事業	教育事業	アドテク事業	育成中事業			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	―	1,160,091	681,072	2,180,503	4,021,667	―	4,021,667
その他の収益	291,925	―	―	―	291,925	―	291,925
外部顧客への売上高	291,925	1,160,091	681,072	2,180,503	4,313,592	―	4,313,592
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	5,114	5,114	△5,114	―
計	291,925	1,160,091	681,072	2,185,618	4,318,707	△5,114	4,313,592
セグメント利益又は損失（△）	△33,825	△46,475	166,349	△294,288	△208,240	△482,304	△690,545

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△482,304千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当中間連結会計期間において、「育成中事業」におけるのれんの一部を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において10,093千円であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	投資事業	教育事業	アドテク事業	育成中事業			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	―	1,306,060	686,157	1,143,650	3,135,869	―	3,135,869
その他の収益	876,637	―	―	―	876,637	―	876,637
外部顧客への売上高	876,637	1,306,060	686,157	1,143,650	4,012,506	―	4,012,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	18,312	18,312	△18,312	―
計	876,637	1,306,060	686,157	1,161,962	4,030,818	△18,312	4,012,506
セグメント利益又は損失（△）	484,873	△107,018	170,948	18,968	567,772	△480,094	87,678

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△480,094千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、中核事業を明確化するため、報告セグメントを従来の「投資事業」、「教育事業」、「人材マッチング事業」、「アドテク・コンテンツ事業」から「投資事業」、「教育事業」、「アドテク事業」、「育成中事業」の４区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

また、第１四半期連結会計期間の期首より連結の範囲から除外したフォッグ㈱、及び前連結会計年度に事業譲渡した㈱ブリューアスのIT教育事業につきましては、前中間連結会計期間においては育成中事業に含めております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。